

# 会 議 録

作成日 令和3年5月20日

日	令和3年5月13日	時間	13:30~15:30	場所	糸魚川市民会館 会議室兼練習室2
件名	第3回糸魚川市水道料金あり方検討委員会				
出席者	<p>1 出席者（10人）敬称略 上村靖司、永江善昭、齋藤友康、池田正夫、齋藤伸一、倉又稔、佐藤元春、山岸喜治、久保田まき子、大瀬信明</p> <p>2 市職員（7人） 樋口局長、山田次長、井上次長、小野係長、塚田係長、小熊主査、高津主査</p> <p>3 新日本設計株式会社（1人） 剣持係長</p>				
<p>1 開会（13:30）</p> <p>2 あいさつ</p> <p>【ガス水道局長】 本日の委員会の開催にあたり、前回からこの時期まで遅れてしまい、深くお詫び申し上げます。この間、局内だけではなく、庁内においても検討を重ねてきたが、各地域の実情にも差があり、その整理に時間がかかったものです。 時間がかかった分、本日の説明内容が盛り沢山ですが、皆様から、それぞれの立場で、いろいろなご意見をいただきたい。</p> <p>【委員長】 コロナ禍により前回の第2回委員会から1年半もの期間が空いてしまった。前回、具体的な議論ができていたので、その時の雰囲気を出しながら議論を進めていきたいので、第1回、第2回の議論の振り返りを事務局に依頼した。説明等が必要であれば遠慮なく言ってほしい。よろしくお願ひしたい。</p> <p>【事務局】 選出母体の役員改正による委員交代の説明（山岸委員） 糸魚川市水道料金あり方検討委員会設置要綱第6条に基づき、委員の過半数の出席により、会議が成立していることを報告する。</p> <p>3 議事</p> <p>【委員長】 1回目2回目の議論を確認してから、進めたいと思う。 水道事業は適切な水道料金の徴収を前提としている。現状の水道料金では数年後に赤字になり、施設老朽化に対する積立金などを考慮すると改善が必要である。また、旧市町の水道料金の料金システムが全く異なり、経営上効率が悪いいため、市として統一したシステムにしたいということが前提にある。 旧市町で料金に差があるが、赤字に向かうことは既定路線のため、多少料金負担が増えるが、料金体系の統一を図りながら、適切な水道料金の設定について検討していきたいのでよろしくお願ひしたい。</p>					

### (1)第1・2回委員会の振り返り

【事務局】（糸魚川市水道料金あり方検討委員会資料2ページから3ページに基づき説明）

【委員長】 現行の料金体系が全然違うことが分かると思う。それから料金システムの統一にあたっては、全国的に推奨となっている水道料金算定要領の説明があった。これについて何か質問等はないか。

（意見なし）

### (2)料金改定スケジュールの変更

【事務局】（糸魚川市水道料金あり方検討委員会資料4ページに基づき説明）

【委員長】 次回の見直しのタイミングが令和9年以降。まずは令和4年からの5年間の料金について、皆さんから審議いただいて決めていきたいということである。これぐらいのスケジュール感が妥当かと思うが、質問等はないか。

（意見なし）

### (3)料金改定の基本方針

【事務局】（糸魚川市水道料金あり方検討委員会資料5ページから9ページに基づき説明）

【委員長】 資料5ページ、赤字の回避と持続可能な料金システムの構築、それから、将来的な統一を視野に入れて現行の水準に配慮しつつ、仕組みだけは統一したいというこの方針についてはよろしいか。

地域の皆さんは、帰って地域の皆さんに説明しなければいけないので、どうですか。

【委員】 いいです。

【委員長】 ここを皆さんに了解いただけると、この後の議論がやり易くなる。用途別から口径別に統一して基本料金をいただくというのは、急に変わったという感じにはならないので、比較的、異論が出にくいと思う。

このことに関してはどうですか。

【委員】 いいです。

【委員長】 口径を小さいものに変更することができるか。

【事務局】 量水器の配管の変更が必要ですが、変更は可能です。

【委員長】 口径別体系でそれぞれ基本料金を決めるところまで了解いただいた。赤字にならないために、資料8ページ下の表にある基本料金の金額にすると、財務的にバランスが取れるというシミュレーションである。この料金については今までに比べてどうなのか。

【事務局】 13ミリの場合は値下げになる。20ミリと25ミリは概ね同様、それ以降は、若干値上げの方向になる。大口径、事業者向け・公共施設がそうなる。

【委員長】 商工会議所としては、いかがか。

【委員】 困りますね。基本料金の程度の問題。大口径を利用する事業者がこの改定によって、相当値上がりすることがないのか。シミュレーションはしているか。

【事務局】 逡増度の考え方については、算定要領のとおり計算した結果になるが、市内の家庭や事業所の口径のバランスを反映させている。事業所単位でシミュレーションは行っている。

【委員長】 料金の細かな数字の精査はこれから調整が必要になってくる。一番は使用者が多い13ミリ、20ミリの料金が上がらないようにしたいということ。

【委員】 全体では12%程度となっても、大口の事業者が50%になると問題が出てくる。それがなければ、そんなに問題にはならない。

【事務局】 この後の議論になるが、家庭向けと大口の方とのバランスを調整させていただく部分があるので、全てが12%になるわけではない。

【委員長】 主だった大口の事業者について、どれぐらい変化するのかを示してもらおうと、皆さんも議論しやすいし、商工会にも説明しやすい。規模と金額が分かれば良い。今日は金額を決めるのではない。まずは基本料金を口径別で統一することを了解したい。従量料金を統一しようとする現状との差がありすぎるので、無理に統一しないということをお今日の結論にしたいが、どうですか。

(異議なし)

【委員】 資料8ページの上の表で支払利息とあるが、前回の会議で、青海地区は起債が無いと聞いたが、負担しなければいけないということか。

【事務局】 3地区全体の表を掲載した。地区別でも算出しており、青海が支払利息を負担していることにはなっていない。

【委員長】 一括にするとそういう部分が見えなくなってしまう。納得していただける数字の出し方だと思う。

【事務局】 この表は糸魚川市全体の今後5年間の推計になるが、水道料金の単価をいくりにすると地区ごとの増減幅がいくらになるというのが出てくるので、それを従量料金で調整させていただきたいということである。

【委員長】 支払利息は、糸魚川と能生の従量料金に入るとということか。

【事務局】 そのとおりです。

【委員】 設備を更新していくための積立はどのぐらいあるか。

【事務局】 この表では、資本費②の資産維持費になる。更新計画のために積み立てていきたいと思っている。

【委員長】 単年度黒字には見えるが、黒字じゃないということなのか。

【事務局】 今後のために積み立てをさせていただきたい。令和元年度では5億円ほどあるが、水道会計の黒字が少なくなっており、積立金を取り崩して補填している状況。令和6年度には赤字になってしまい、その積立を食いつぶしてしまうことになるので、今回の料金改定で積み立てができるようにしたい。

【委員】 それは分かるが、現状でどれぐらいあって、またそれを使っていかなければいけない。その具合が分かるといい。

【委員長】 これを次回資料に出してもらった方がいい。現状、12%足りないという根拠があった方が説明しやすい。

【事務局】 2回目の会議資料で説明しているが、令和2年度では4億5000万の積立金で、このままいくと、徐々に少なくなると説明した。

【委員長】 第2回提出資料を次回、再配布していただきたい。

#### (4) 当面の5年間の料金検討

【事務局】 (糸魚川市水道料金あり方検討委員会資料10ページから17ページ及び追加配布

した資料No.1、資料No.2に基づき説明)

【委員長】 ここから先はもう遠慮なく意見をいただきたい。

添付資料を見たときに、マイナスの部分があることに違和感がある。上げると言っておいて、安くなる。みんなで我慢するのではなかったのか。

単価の逡増型で行った場合に、すごく量が少ない方が安くなるという感覚があるのは構わないけど。9割ぐらいの方が使用している口径で、糸魚川のマイナスが目立つが、他地区の方から見るとどう思うか。この辺り 50 円と 121 円の数字調整でどうとでもなるような気がするが、いかがですか。

【事務局】 委員長が言うように、やはり単価の均一型にすると現行の単価よりも従量料金が安い設定になってしまうので、大口の方は値下げになる。

私どももそれでは難しいと思ひまして、この逡増型というのを採用させていただいた。50 円の調整は可能です。

【委員長】 ここらへんはさじ加減で調整できる。皆さんが納得していただける表にならないといけないと思う。

【委員】 口径 13 ミリの基本料金は下げる必要があるのか。下げても、結局上がるのなら、下げなくてもいいのではないか。全体に 12%で調整していくということだが、第2ステップの令和9年度以降、従量料金の統一に向けていくのであれば、今回、12%に揃える必要があるのか。ここで、少し調整して地域間の差を近づけてもいいのではないか。

【委員長】 据え置きならまだ分かるけど、皆さんで痛みを分かち合って、この水道システムを守っていくならば、下がるのはしっくりこない。だから基本料金も含め、少し減るといふところがないように上手く調整してもらいたいのではないか。

それから令和9年以降に、従量料金の方も統一に向かうのならば、12%を目安としつつも、そのパーセンテージは柔軟に見てもいいのではないかとということ。

【委員】 昨年、ガス水道局職員を講師に招き、勉強会を行った。同じ市に住んで同じ税金を払い、なおかつ10年も経過しているのに、料金がこれだけ違うのはおかしいという意見がある。異なる理由は背景を聞いて理解できるが、5年後、10年後に同じ体系にするというビジョンがあれば説明がつくと思う。

【委員長】 いきなり統一というのは無理だという、先ほどの結論になると思う。とはいえ、やっぱり一体感を持った市の運営というところを目指すという方針は共有したほうがいい。令和9年以降も統一と言い切るのは難しいかもしれなくて、統一に向けて、次のビジョンを作るといふのが、多分正しいのだろうと思う。

【事務局】 糸魚川市に限らず、自治体の料金改定等をいくつか行っている。参考までに他の自治体の対応としては、市町統合した後、例えば10年ないし15年以内に統一するという目標をつけて、そこに向けて統合していくことになる。糸魚川市の場合は、そもそも体系が用途別、口径別で異なるので、まずはそこだけを統一させていただく。ただし、どうしても体系を変えるので、若干下がってしまうところや上がってしまうところがある。下がってしまうところを下げないようにすると、上がってしまうところは更に上がる。上限額がどこまで許容できるのかということや、先ほど出たように地区によって改定率を変える検討をいただければ、それらに応じてシミュレーションをすることは可能である。

【委員長】 個人的には、下がる場所は現行でいいのではないか。

どうしても総括原価方式なのでこのようになってしまいが、そこを調整することができるのか、事務局には検討をお願いしたい。今回は、より現実的な案にさせていただくための意見を出していただきたいと思っている。

従量料金に関しては、今ほどすばらしい意見をいただいたが、将来的な統一に向かうところだけは共有したい。

ただし、一度に統一するのは難しいので、時間をかけて議論していく必要があると思う。また、従量料金についても差が出ないように、逡増型単価設定を検討いただき、一律12%という議論も公平ではないと不満が出ると思うので、そのあたりはさじ加減であるが、皆さんが納得していただける部分を見出していくべきであると思う。

【委員】 先の話になるが、最終的に統一するのであれば、本当に統一した時の料金体系を出していただいたほうが、それまでの道筋をバランスを取りながら考えていけると思う。

【委員長】 私の想像ですけど、多分、10年とか20年後の水道料金の議論を始めようと思うと、人口動態や水道使用量の予測は難しいと思うが、いかがか。

【事務局】 今示している人口予測は平成29年度に立てたものだが、それよりも人口減少は早く進んでいる状況。このため、短いスパンで確認、修正する必要があると思う。

【委員長】 水道使用量等の予測を精査しつつ、今ここで綺麗なゴール設定は難しいから、まず水道ビジョンを作るということではないか。

【委員】 心情的に、最終的には統一するのが望ましいと思うが、現状はなかなか納得しがたいものがある。そのあたりをどのように調整していくかだと思う。

【委員長】 気持ちは分かるが、いきなりと言われたら、みんな反発する。だから今回は料金体系と基本料金の統一だけでも、加えて、将来的には従量料金も統一を目指すというところまでは、何とか了解いただけるとありがたい。

従量料金については意見をいただいて、次回、議論して、その次に修正した最終案の了解をいただくという流れになると思う。

【委員】 資料12ページと15ページの調整後の県内比較は載せないほうがよい。

水道料金は全県で問題になっている。能生地区の皆さんが見たら、変な誤解を招く。

【事務局】 先ほど委員からお話がありました、最終的な統一をした場合については、資料8ページ下のスライドになる。20 m<sup>3</sup>を使用している場合だと、糸魚川では800円の値上げ、能生が240円の値下げ、青海900円の値上げとなる。

【委員長】 8ページ、9ページの表は非常に大事で、従量料金の統一はすぐにはできないことを示している。

皆さんから一言ずついただきたい。

【委員】 能生が高いのは無理がない。他とは水源が違い、伏流水でない。沈殿池やろ過池があり、ろ過用の砂を用意し、砂をかいて、対応している。だから原価がものすごく高い。能生の水道は昭和2年から行っており、昔から水源に苦勞をしてきたし、借金があり、建設改良費もかかっている。

その中で加入金も高く、今も高い加入金を払っているが、そこはそろそろ考えていいと思う。

【委員】 青海は地下水のため、取水施設や浄水施設がほとんどないため、ランニングコストは低いと思う。ただ、管路は老朽化している。

【委員】 糸魚川の水は上越から比べると少し味が劣ると感じるが、料金は安いイメージを持っている。料金統一をしていきたいということは勉強会等で理解をしているが、先のことだという印象。

【委員】 旧青海町の議会で、青海の水道はタダにしてもいいぐらいだという議員がいて、料金値上げ・改定についてはすごく慎重に行ってきた。住民は今の状況を納得しているので、値上げに心配な部分がある。

【委員】 今までずっと変わらなかったものが、毎年段階的に値上がりすることに関して、疑問がある。業務の簡素化とかもできるのであれば、毎年ではなく、2年に1回でもいいのではないかと。

【委員長】 なるほど。素晴らしいアイデア。

【委員】 私も青海の出身なので、値下げは歓迎で、値上げには抵抗がある。先ほどの逡増型のシミュレーションで、少し下がるくらいならば、現行のままのほうが良いと思う。将来的に事業にこれだけお金がかかるという資料を出した上で、みんなが理解するような背景が一番望ましいと思う。あとは調整してソフトランディングできるようにするべきだと思う。地域的にも上がるのは抵抗したいところだけれど、大事な水の価値観は共有したいと思う。

【委員】 決定後の住民説明についてだが、水道料金は生活に密着したものであるため、関心は高いと思う。広報で周知するだけでなく、説明会を設けるなど、住民の理解を得られるようなものにしてほしい。

【委員長】 本当に大事なところ。住民の皆さんにご理解いただけるように、分かりやすく、納得してもらえるような説明をしていくことは、おっしゃるとおりだと思う。

【委員】 難しいかもしれないが、能生は最終的には下がる話なので、今も高い料金を負担している。バランスを取って、値上げをしなくてもいいのではないかと。

【委員長】 12%を基準としつつ、上げ幅は少し柔軟にする対応で、今の意見はある程度反映できるかと思う。

【委員】 逡増型の表を見ると、弱者救済になっているので、悪いことではないと思う。3地区で非常に差があるのを、少しでも埋めていくという気持ちが必要と思う。

【事務局】 説明会については、あり方検討委員で議論したことを、議会でも検討していただき、その後、各地区に説明する予定で考えている。

また、毎年上がる考え方につきましては、資料 14 ページにあるのが、一気に上げる場合の差額になる。負担が大きいということで、5分の1を事務局で考えてみたが、委員の2年に1回の改定ということも検討していきたい。

【事務局】 他の団体でも措置として取り入れている方法である。

【委員長】 一気に料金変更できないから、2回に分けて行う。すごく具体的でいいアイデアだと思うので、ぜひ検討してほしい。

口径別料金にする。基本料金を統一する。従量料金については、これまでの状況に配慮しつつ、適切にこれから進めていくことを、今日の会議の合意というこ

とにさせていただきます。

本日いただいた意見を基に次回の委員会資料を準備して、皆さんにご案内をさせていただきます。

#### 4 その他

各委員からは特になし。

#### 5 閉会(15:30)

**【事務局】** 本日いただいた意見をもとに、第4回の資料を準備します。

本日は長時間にわたり活発なご意見ご審議をいただきまして、ありがとうございました。第4回の会議は期間を空けないように、早めにご案内させていただきますので、よろしくお願いします。

本日はありがとうございました。